		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	12	1		個別スペース10スペース用意している
	2	職員の配置数は適切であるか	13	0	0	職員数13名
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	5		簡単な工事でできる箇所はしている。 できない場合、転倒してもけがないソフトクッションの床にしている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	13			個別のケース会議だけでなく毎月利用者の状況について情報交換を職員会議で行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	4		今回の自己評価表も集計後職員会議で公表し検討している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13			公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	0	5	凸凹発達支援のアドバイザーの来訪を依頼したりはしている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13			毎月1~2回事業所内研修。他の施設訪問を毎年1~2回行っている。
適切 な 支	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	13			毎回リモートがほとんどだが懇談にて要望を伺ったり、SM社会生活能力検査を行いアセスメントに役立っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	0	1	SM社会生活能力検査を使っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	13			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	13			休日には、色々な場所へ出かけ、色々な経験ができるように工夫している。

援 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13			個別(課題学習、宿題 個別のブースにて) 集団(設定療育、お出かけ活動)
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13			開始前のミーティング
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	2		終了時のミーティング
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	1		連絡帳 気になるお子さんには記録を取っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12	1		6ヶ月に1回
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	11	2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	2		児童発達支援管理責任者が主に出席
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	13			学校へのお迎え時必ず本日の様子をうかがっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	10	3		現在、医療的ケアが必要な利用者お子さんはいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	12	1		就学支援シートなど、情報開示可能であれば頂いている。連携先の場合は初回に挨拶に必ず伺い状況を聞いている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	6		今まで要請があったことがない。あれば行う体制はできている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	12	1		徳島市主催の児童発達支援センターの講師の方の研修は必ず受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		6	7	コロナ流行のため現在は行えない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	4	6	なかなか参加が時間的に難しい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13			送迎時や連絡帳を通してきめ細やかに伝えている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	11	2		コロナ流行以前は定期的に保護者との茶話会を開いていた。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	13			契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13			電話での相談だけでなく、ラインやメールでのやりとりで行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12	1		コロナ流行前は行っていたが。現在は行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13			苦情の手前の要望の時点で、対応策を考え、職員会議で対策をまとめて保護者にフィードバックしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13			毎月保護者へ予定表として、連絡事項や様子等を知らせている。
	35	個人情報に十分注意しているか	13			写真は個人情報公開のアンケートを毎年とり、×の場合は掲載しない。掲載可能の場合も毎回許可を得なるべく個人の特定ができないようにしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13			お手紙にふりがなをふる。情報を整理して短い文章で伝えるなど工夫している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	7	コロナ流行の為実施できない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	13			契約時に行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12	1		年2~3回の地震、津波尾、火災、不審者訓練野甫か防災センター訪問により消火訓練を年1回以上行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13			年数回虐待防止研修を行うと友に人権研修も行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13			身体拘束の必要、可能性があるお子さんがいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13			アレルギーについてのアセスメントは医師や病院からの指示書を掲示して職員会議にて全職員で共通理解を図っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	13			行っている。